

# 市職員の給与と人事

詳細 行政監理室 ☎(32)6182

「地方公務員法第58条の2」および「苦小牧市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例第6条」の規定に基づき、市職員の給与や勤務状況などと公平委員会の業務状況について、市民の皆さんに概要をお知らせいたします。

## 給与の決定

苦小牧市職員の給与は、生計費をはじめ、国家公務員や他の地方公共団体職員、民間企業の従業員との給与などを総合的に考慮した「苦小牧市一般職の職員の給与に関する条例」で定められています。これら給与に関する予算は毎年、市議会の審議を経て決定しています。

## 職員を適正に配置

市職員の定数は、国が示した定員モデルや他市の状況、市の行政需要を考慮して適正な配置に努めています。



## 1 任用の状況

職員の定数は「苦小牧市職員定数条例」で定められています。平成23年4月1日現在の職員数は1千796人で、平成22年4月1日と比較して24人の減となっています。

## 1 職員数

区分	職員数(人)		対前年増減(人)
	23年度	22年度	
一般行政部	703	697	△6
特別行政部	397	403	△6
公営企業会計部門	696	720	△24
合計	1,796	1,820	△24

※職員数には特別職、苦小牧港管理組合派遣職員、臨時職員、非常勤職員は含まない

## 2 採用者数と退職者数【平成22年度】

区分	採用者数(人)	退職者数(人)
一般部局	56(23)	75(4)
市立病院	41(0)	41(0)
消防	10(5)	10(0)
教育委員会	3(4)	19(2)
合計	110(32)	145(6)

( )は再任用職員で外数  
※平成22年4月1日から23年3月31日までの新規採用者および退職者

## 3 勤務時間その他勤務条件の状況

平成23年4月1日現在の一般職員の勤務時間、平成22年度の年次有給休暇平均取得日数、育児休業・介護休暇取得者数は次のとおりとなっています。

## 1 一般職員の勤務時間【平成23年4月1日現在】

週の勤務時間	38時間45分
勤務日	月曜日～金曜日
勤務時間	8時45分～17時15分
休憩時間	12時～12時45分

※本庁勤務の場合。2交代や3交代の場合は週38時間45分を原則に割り振り  
※休憩時間は、労働基準法で定められている休憩時間

## 2 年次有給休暇平均取得日数【平成22年度】

10.6日	1年度20日付与、現年度分のみ20日を限度に繰り越しが可能
-------	-------------------------------

## 3 育児休業、介護休暇取得者数【平成22年度】 単位：人

区分	育児休業	介護休暇
男性	0	0
女性	32	0
計	32	0

## 4 研修および勤務成績の評定の状況

### 1 研修の状況

平成22年度の実施状況は次のとおりです。

区分		受講者数	内容
職場外研修	基 本 研 修	487人	新採用基礎・継続、一般職員Ⅰ～Ⅲ、監督者Ⅰ～Ⅱ、管理者Ⅰなど
	集 合 研 修	682人	経理実務、危機管理、サービスマップ研修など時宜にかなった研修、専門・実務的知識の取得など
	研 修 専 門 機 関 研 修	41人	市町村職員中央研修所、全国建設研修センター、北海道市町村職員研修センターなど
職場研修	派遣研修	2人	国内都市派遣
	集合研修	—	85職場505件（各職場内で企画実施）
派遣研修	680人	61職場（道庁、胆振支庁など）	
自主研修	53人	通信教育、自主研究グループ	

### 2 厚生制度

職員住宅の貸し付け、保健室・休憩室の設置、健康診断の実施、作業服などの貸与をしています。また、全職員加入の福利厚生会では、職員交流スポーツ大会やレクリエーション、文化・体育の各サークルへの活動助成、慶弔金などの給付、生命保険の団体取り扱いをしています。

## 8 給与の状況

市職員の給与・主な諸手当の支給状況、期末・勤働手当の支給割合などをお知らせします。

### 1 職員給与の支給状況

職員給与は、職員に支給される毎月の給料と、扶養手当・住居手当・通勤手当・時間外手当などの諸手当、民間企業との賞与にあたる期末・勤働手当などをあわせたものです。（表1）

### 2 一般行政職の初任給と経験年数・学歴別平均給料月額

職員の初任給は、民間企業の水準を考慮して決められています。経験年数・学歴別の平均給料は表2のとおりです。

## 5 分限および懲戒の状況

平成22年度の分限および懲戒の状況は次のとおりです。

区分	人数
分限処分者数(人)	0
懲戒処分者数(人)	5

## 7 公平委員会の業務の状況

### 1 勤務条件に関する措置の要求の状況

平成22年度においては、前年度からの繰り越しを含めた措置の要求はありませんでした。※職員は給与、勤務時間その他の勤務条件に関し、市の当局から適当な措置が取られるように公平委員会に対して要求ができます。

### 2 不利益処分に関する不服申立ての状況

平成22年度においては、前年度からの繰り越しを含めた不服申立てはありませんでした。※職員は懲戒そのほか意に反する不利益な処分に関し、公平委員会に不服の申立てができます。

表1 職員給与の支給状況【平成22年度一般会計決算】

職員数(A)	給 与 額				1人当たり給与年額(B/A)
	給料	諸手当	期末・勤働手当	計(B)	
人	千円	千円	千円	千円	千円
1,172 【再任用を含む】	4,471,717	901,670	1,555,742	6,929,129	5,912
1,107 【再任用を除く】	4,375,818	892,546	1,538,165	6,806,529	6,149

※諸手当には退職手当を含まない。

表2 一般行政職の初任給と経験年数・学歴別平均給料月額【平成23年4月1日現在】

区 別	経験年数	初任給			
		10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上
大学卒	苦小牧市職員	172,200円	278,900円	325,700円	372,400円
	国家公務員Ⅰ種	※	※	※	※
高校卒	苦小牧市職員	140,100円	240,000円	296,700円	332,700円
	国家公務員Ⅱ種	172,200円	283,767円	337,862円	384,602円
大学卒	苦小牧市職員	140,100円	240,000円	296,700円	332,700円
	国家公務員	140,100円	235,737円	287,000円	329,966円

※はⅠ種、Ⅱ種平均

表3 職務級別平均給料月額(一般会計)【平成23年4月1日現在】

職務	主事 技師	主事 (高度) 技師 (高度)	係長 主査 主任	係長 (困難) 主任 (困難)	課長補佐	課長 主幹	次長	部長	計
給料表の 適用級	1級	2級	3級	4級	4級	5級	6級	7級	—
職員数(人)	149	191	234	305	39	159	19	14	1,110
構成比(%)	13.4	17.2	21.1	27.5	3.5	14.3	1.7	1.3	100.0
平均年齢	22歳 8月	30歳 1月	38歳 7月	52歳 4月	49歳 1月	56歳 9月	57歳 2月	57歳 5月	42歳 3月
平均給料 月額(円)	167,916	229,148	309,233	391,729	382,188	415,341	425,235	444,736	320,608

※管理職は課長補佐職以上

表4 ラスパイレス指数(給与水準)

区 分	平成20年	平成21年	平成22年
苦小牧市	95.9	96.3	97.7
道内10万都市平均	96.5	97.0	97.6
全国地方公共団体	98.7	98.5	98.8

表6 期末・勤勉手当の支給割合

区分	苦小牧市職員		国家公務員	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6月	1.475月分	0.425月分	1.225月分	0.675月分
12月	1.575月分	0.475月分	1.375月分	0.675月分
計	3.05月分	0.9月分	2.6月分	1.35月分

※職務の級などに応じた加算措置がある【平成23年4月1日現在】

表7-1 退職手当の支給割合【平成23年4月1日現在】

勤続年数	苦小牧市職員		国家公務員	
	自己都合	勸奨・定年	自己都合	勸奨・定年
20年	23.50月分	30.55月分	23.50月分	30.55月分
30年	41.50月分	50.70月分	41.50月分	50.70月分
35年	47.50月分	59.28月分	47.50月分	59.28月分
最高限度	59.28月分	59.28月分	59.28月分	59.28月分

表7-2 退職手当の平均支給額【平成22年度決算】

退職理由	人数	平均支給額
自己都合	29人	2,491千円
勸奨・定年	107人	25,356千円

※人数は退職手当の該当者数(死亡退職を除く)

表8-2 主な諸手当の支給状況②

区 分	全 職 種	
職員全体に占める手当支給職員の割合	40.6%	
支給対象職員1人当たりの平均支給年額	29千円	
手当の種類(手当数)	15種	
特殊勤務手当	出勤待機手当 出勤手当 業務手当	
	多くの職員に支給されている手当	
時間外勤務手当	21年度 支給総額	233,668千円
	職員1人当たり支給年額	232千円
	22年度 支給総額	218,843千円
	職員1人当たり支給年額	220千円

【平成22年度一般会計決算】

※●出勤待機手当・出勤手当=消防職員への手当 ●業務手当=生活保護、清掃業務などに従事する職員への手当

3 職務級別平均給料月額(一般会計)  
職員の給料月額は、職務の複雑・困難・責任の度合いに応じて級別に分類され、給料表により定められています。(表3)

4 ラスパイレス指数(給与水準)  
ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合における、地方公共団体職員の給与水準を示したものです。苦小牧市は平成22年4月現在97.7であり、平成21年度から1.4ポイントの増になっています。表4は全国、道内の他市との比較です。

表5 特別職の給料など

区 分	苦小牧市 (月額)	道内市平均 (月額)
給料		
市長	833,000円	865,538円
副市長	720,000円	753,204円
議長	520,000円	606,477円
報酬		
副議長	480,000円	546,100円
議員	440,000円	501,327円

※道内市平均とは人口10万人以上の市【平成23年4月1日現在】

退職手当の支給状況  
退職手当は、勤続年数や退職理由により表7-1のとおり定められています。平成22年度退職者数と平均支給額は表7-2のとおりです。



5 特別職の給料など  
特別職の給料・報酬は市議会の審議を経て、「苦小牧市特別職の職員に関する条例」で定められています。財政健全化緊急対策などにより、平成12年1月より減額措置を行い、平成19年4月1日から平成24年3月31日までの間に限り給料月額は、市長15%、副市長および常勤監査委員10%の減額となっています。(表5)

6 期末・勤勉手当の支給割合  
民間企業の賞与にあたる期末・勤勉手当は、給料と扶養手当の合計を基礎に定められています。(表6)

表8-1 主な諸手当の支給状況①

区 分	支 給 基 準	月 額	
		苦小牧市職員	国家公務員
扶養手当	配偶者	13,000円	13,000円
	1人目 配偶者がある場合	6,500円	6,500円
		配偶者がいない場合	11,000円
	2人目以降	6,500円	6,500円
住居手当	16歳から22歳までの子の加算	5,000円	5,000円
	借家など支給対象家賃額(市)7,001円以上(国)12,001円以上	1,000円~27,000円	100円~27,000円
通勤手当	持家	8,000円	0円
	自家用車などの利用者	距離(片道)	2.0km以上
金額		2,250円~24,500円	2,000円~24,500円
交通機関利用者限度額		55,000円	55,000円

【平成23年4月1日現在】

8 主な諸手当の支給状況  
主な諸手当については次のとおりとなっています。(表8-1、表8-2)